

2024年2月29日

**ランクセス、持続可能な淡色硫黄系極圧添加剤  
「アディティン スコープブルー」を発表  
～製造設備を拡張し、2024年より稼働を開始～**

ランクセス株式会社

- 金属加工潤滑剤向け淡色硫黄系極圧添加剤
- 摩耗の低減と冷間圧接の防止
- 持続可能性を備えた製品であることを示す「スコープブルー (Scopeblue)」認証ラベル
- ドイツ・マンハイム拠点で持続可能な淡色硫黄系極圧添加剤の生産設備を拡張し、稼働を開始

ドイツの特殊化学品メーカー、ランクセス (LANXESS) は、「アディティン® (Additin®)」製品群に自社の持続可能性認証ラベルである「スコープブルー (Scopeblue®)」を付与した淡色硫黄系極圧添加剤を発表しました。

ランクセスのルブリカントアディティブスビジネスユニット (LAB) の責任者であるニーランジャン・バネルジーは次のように述べています。「持続可能性は市場においてますます重視されるようになり、ランクセスでも重点的に取り組んでいる領域です。ランクセスは、様々な用途向けの製品でお客様を支援し、共に成長するために適切な製品を取り揃えているだけでなく、より持続可能で環境に優しい代替品も提供することで、市場で優位性を維持しているのです」

淡色硫黄系極圧添加剤はドイツ国内で調達された再生可能原料をもとに製造されています。これらの原料は、EU エコラベルの申請を予定している潤滑剤メーカーにとって最も重要な基準である「潤滑油物質分類リスト (LuSC)」の要件も満たしています。EU エコラベル潤滑剤は従来の潤滑剤よりも環境に優しい代替品であり、幅広い環境基準に配慮することにより生物多様性への影響を低減することを目的としています。

**摩耗の低減と冷間圧接の防止**

「アディティン」ブランドの硫黄系極圧添加剤は淡色で臭いが少なく、主に金属加工潤滑剤に使用されます。金属表面の摩耗を低減し、高圧などの過酷な条件下でも金属表面の凝着を防止します。淡色硫黄系極圧添加剤は生態毒性に関する優位性を有するため、塩素化パラフィンの代替として浸透しつつあります。塩素化パラフィン環境残留性および生物蓄積性が高く、欧州化学物質庁 (ECHA) において高懸念物質 (SVHC) として分類されています。

以下の「アディティン」製品は、再生可能原料をもとに製造された優れた持続可能製品として「スコープブルー」ラベルが付与されています。

- 「アディティン RC 2315」「アディティン RC 2317」: 低動粘度、優れたぬれ性、グループ I ~V の基油への高い溶解性
- 「アディティン RC 2410」「アディティン RC 2415」「アディティン RC 2418」: 中～高動粘度、優れた潤滑性、高極性
- 「アディティン RC 2515」: 優れた極性と潤滑性、金属表面との高い親和性、高動粘度

技術的詳細および関連情報はこちらをご覧ください。<https://lanxess.com/en/Products-and-Brands/Brands/Additin/Extreme-pressure>

### 持続可能な製品を示す「スコープブルー」認証ラベル

ランクセスは、持続可能な原材料の含有率が 50% 超、またはカーボンフットプリントが従来の同等品の半分未満である製品に「スコープブルー」ラベルを付与しています。これらの製品はマスバランス法を用いて計算され、従来の製品と化学的に同一で、新たな製造プロセスやツール、製品の改良は必要ありません。

### 持続可能な硫黄キャリアのための拡張プラントを稼働

ランクセスは、さらに、2023 年末に持続可能な淡色硫黄キャリアの生産能力を数千トン増強しました。投資額は数千万ユーロで、計画通り約 2 年間で、ドイツ・マンハイムの拠点において完成しました。追加生産量は、2024 年初頭から利用可能となりました。

ルブリカントアディティブスビジネスユニット(LAB)は、確かな実績に基づき、潤滑油製品に配合される塩素化パラフィンを、高性能でより環境に優しい硫黄系極圧添加剤への代替を検討するお客様に技術的な専門知識を提供して参ります。

ランクセスの潤滑油添加剤ポートフォリオの詳細は、

<https://lanxess.com/en/Company/Corporate-Structure/Business-Units/Lubricant-Additives-Business>からご確認いただけます。



ランクセスは持続可能な製品ラベル「スコープブルー」を付与した淡色硫黄系極圧添加剤を導入します。これらの製品は、持続可能性、生態毒性の点で優位性のある製品群であり、現在の金属加エプロセスにおいて優れた性能を示します。(写真:ランクセス AG)



ドイツ・マンハイムの拠点にて、持続可能な硫黄キャリアのための拡張プラントが始動。左から、セバスチャン・フェルスター(現場管理責任者)、デイビッド・アド(グローバル・プロジェクト&エンジニアリング責任者)、ニーランジャン・バネルジー(LABビジネスユニット責任者)、アンノ・ブロコウスキー(経営委員会メンバー、2023年末で退任)の、クリスチャン・シュペヒト(マンハイム市長)、ベルント・クレイ(グローバル生産&技術責任者)、アンケ・ブラウル(LAB製造責任者)(写真:ランクセス AG)

# # #

これは、ドイツ・ケルンで2023年4月12日及び12月13日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

この原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://press.lanxess.com/>

#### ランクセスについて:

ランクセスは、世界 32 カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2022 年の総売上は 81 億ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 13,000 人です。主な事業は、中間体、添加剤、コンシューマープロテクション製品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスは、持続可能性に優れた企業を選定する「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」のワールド・インデックス (DJSI World) 及びヨーロッパ・インデックス (DJSI Europe) の構成銘柄です。

ランクセスについての詳細は同社 URL にてご確認下さい。

[www.lanxess.co.jp](http://www.lanxess.co.jp)

#### 本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

TEL : 03-5293-8006 FAX : 03-5219-9773

[lanxess.japan@lanxess.com](mailto:lanxess.japan@lanxess.com)

#### 免責について (Forward-Looking Statements)

本プレスリリースには、ランクセスの予測、見解、期待、そして第三者からの引用を含む、予測・予定事項の記述がございます。様々な既知あるいは予測不能なリスク、不確定要素、またその他の要因により、実際に発生する結果、財務状態、発展及び業績が、本資料に記載の予測・予定事項と大幅に異なる可能性があります。本資料に示される将来予測に関する意見の正確性や進捗が実際に起こりえるかどうかに関しても責任を負うものではありません。ここに示されたいかなる情報、予測、推定、目標、意見に関して、明示的あるいは黙示的な表明や保証を行うものではありません。そのため、これらの記述につきまして、本資料の記載事項に全面的に依存されることは控えて頂きますようお願いいたします。本資料に示されたいかなる脱漏、誤った記述に関しても責任を負いかねます。また、この資料を使用することによる直接的あるいは間接的に生じる事項に関して、ランクセスとその関連会社、役員、責任者、従業員は一切の責任を負いかねますので、併せてご了承いただきますようお願い申し上げます。

#### その他の情報:

ランクセスのニュースリリースは [www.lanxess.co.jp](http://www.lanxess.co.jp) の”プレスリリース”項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は <http://photos.lanxess.com> (英語) より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。 <http://globe360.net/broadcast.lanxess/> (英語)

ランクセスのウェブマガジンは下記でご覧いただけます。

<https://webmagazine.lanxess.com/ja/> (日本語)

ランクセスの Twitter、Facebook、LinkedIn、YouTube の公式ページは下記サイトをご覧ください。

[http://www.twitter.com/LANXESS\\_JP](http://www.twitter.com/LANXESS_JP) (日本語)

<http://www.facebook.com/LANXESS> (英語)

<http://www.linkedin.com/company/lanxess> (英語)

<http://www.youtube.com/lanxess> (英語)

(2024-0229J)